



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 田之畑 武 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,735	△5.3	△55	—	△47	—	△97	—
2020年3月期第1四半期	2,889	6.7	△42	—	△20	—	△46	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △68百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △54百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△25.22	—
2020年3月期第1四半期	△12.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,537	4,838	38.6
2020年3月期	12,387	4,942	39.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,838百万円 2020年3月期 4,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,760	7.1	203	268.2	215	80.0	86	—	22.41
通期	13,396	7.7	366	—	406	—	188	—	48.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,746,000株	2020年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	868,889株	2020年3月期	868,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,877,111株	2020年3月期1Q	3,877,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年10月の消費税増税は、家計負担を抑えるため軽減税率やキャッシュレス決済ポイント還元制度などで対応したものの、消費者の購買意欲は停滞気味な動きとなったほか、新たに世界的な脅威となった新型コロナウイルス感染症拡大は、社会・経済活動の制限や外出自粛要請等を受けたことにより、インバウンド需要の消失及び幅広い業種の悪化の影響で、極めて厳しい経済の動きとなり更に景気回復の不透明さが増した状況で推移しました。

水産及び食品業界におきましては、消費税増税に加え新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請等から、観光地、ホテル及びイベント等での需要が激減し、さらに消費者の外出控えや買い控え等で、業態を超えた企業間の価格競争があるなど様々な懸念含みで厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」への取り組みを積極的に推し進める一方、新型コロナウイルス対策会議を定期的に行い、テレワークやスプリットチームなどの自己防衛体制で取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高27億35百万円（前年同期比5.3%減）、営業損失55百万円（前年同期は42百万円の営業損失）、経常損失47百万円（前年同期は20百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失97百万円（前年同期は46百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）の減収減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

①水産事業

水産事業における養殖環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、鮮魚生産物消費の低下とともに価格安取引の値動きとなったほか、梅雨前線の停滞による長雨や集中豪雨で様々なりスクに晒されております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、夏場の細菌感染症等対策や新型コロナウイルス感染症が拡大した影響に伴い、養殖稚エビの導入尾数の減少や時期をずらすなどした養殖事情から、エビ種苗用の販売が伸びず前年同期を下回りました。

魚飼料類は、新規販売先の開拓と既存取引先のシェアアップが図られたことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で鮮魚生産物の出荷も見合わせる動きとなり、養殖飼育の成魚が例年より多い在池尾数となったことから、ハマチ飼料類、マダイ飼料類及びヒラメ飼料類販売が前年同期を上回りました。

また、鮮魚販売及び魚類種苗生産販売は、新型コロナウイルス感染症の影響で、市場への成魚出荷量が減少したほか、取引先からの予約キャンセルなどが相次いだことから前年同期を下回りました。

その結果、売上高は14億90百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント損失は52百万円（前年同期は8百万円のセグメント利益）となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費税増税の影響が残るなか、新型コロナウイルス感染症の拡大により、インバウンド需要の消失、外食市場低下及びイベント等の開催自粛となり、個人消費活動も縮小している状況から、企業間においては価格競争が続く厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、コロナ禍の煽りで店舗営業自粛や旅行客減少から、業務用商品の販売は低下したものの、外食需要から内食需要への一時的な高まりから主力の乾麺類、即席めん類及び皿うどん類の自社ブランドの販売が好調に推移しました。

また、カレー類、シチュー類及びかき揚げ類の販売は、コロナ禍の影響を受け、外食向けの業務用が減少しましたが、家庭用及び小容量サイズ商品の販売が好調に推移しました。

その結果、売上高は12億45百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は97百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億49百万円増加し、125億37百万円となりました。これは、主として現金及び預金が49百万円減少、受取手形及び売掛金が2億16百万円増加、仕掛品が52百万円減少、原材料及び貯蔵品が51百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ2億53百万円増加し、76億98百万円となりました。これは、主として買掛金が2億14百万円増加、短期借入金が2億89百万円増加、長期借入金が2億5百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億3百万円減少し、48億38百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億32百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があります。2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月14日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,053	1,909,395
受取手形及び売掛金	1,751,502	1,968,235
商品及び製品	599,867	713,760
仕掛品	467,774	415,638
原材料及び貯蔵品	1,329,319	1,278,126
その他	83,534	100,106
貸倒引当金	△11,528	△12,256
流動資産合計	6,179,522	6,373,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,370,125	1,360,048
機械装置及び運搬具(純額)	881,365	844,129
土地	2,127,540	2,145,994
その他(純額)	205,784	189,021
有形固定資産合計	4,584,815	4,539,195
無形固定資産		
のれん	243,997	227,204
その他	43,260	39,354
無形固定資産合計	287,257	266,559
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,374,992	1,397,670
貸倒引当金	△39,055	△39,055
投資その他の資産合計	1,335,936	1,358,614
固定資産合計	6,208,010	6,164,368
資産合計	12,387,532	12,537,375

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	566,052	780,459
短期借入金	3,654,527	3,943,776
未払法人税等	113,390	62,258
賞与引当金	161,621	118,114
その他	465,689	511,542
流動負債合計	4,961,280	5,416,150
固定負債		
長期借入金	1,725,734	1,520,638
役員退職慰労引当金	393,023	399,318
退職給付に係る負債	100,873	101,947
その他	264,231	260,611
固定負債合計	2,483,862	2,282,515
負債合計	7,445,142	7,698,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	443,700	443,700
利益剰余金	4,722,359	4,589,670
自己株式	△950,908	△950,908
株主資本合計	4,819,050	4,686,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123,339	152,347
その他の包括利益累計額合計	123,339	152,347
純資産合計	4,942,389	4,838,709
負債純資産合計	12,387,532	12,537,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,889,242	2,735,391
売上原価	2,341,603	2,237,513
売上総利益	547,639	497,877
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	126,188	130,293
貸倒引当金繰入額	891	733
給料及び賞与	136,259	122,416
賞与引当金繰入額	32,773	30,865
退職給付費用	7,377	8,433
役員退職慰労引当金繰入額	5,073	6,295
その他	281,907	254,001
販売費及び一般管理費合計	590,471	553,039
営業損失(△)	△42,832	△55,161
営業外収益		
受取利息	625	491
受取配当金	3,203	3,476
受取保険金	9,943	4,252
補助金収入	13,758	4,784
雑収入	16,557	5,497
営業外収益合計	44,088	18,502
営業外費用		
支払利息	5,142	4,992
為替差損	16,148	3,327
雑損失	139	2,459
営業外費用合計	21,430	10,779
経常損失(△)	△20,174	△47,438
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,174	△47,438
法人税、住民税及び事業税	58,731	59,307
法人税等調整額	△32,387	△8,952
法人税等合計	26,344	50,355
四半期純損失(△)	△46,518	△97,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,518	△97,794

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△46,518	△97,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,722	29,007
その他の包括利益合計	△7,722	29,007
四半期包括利益	△54,241	△68,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,241	△68,786
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,648,973	1,240,269	2,889,242	—	2,889,242
セグメント利益又は損失(△)	8,879	81,110	89,990	△110,164	△20,174

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,164千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費93,613千円、営業外収益4,228千円、営業外費用20,780千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,490,067	1,245,323	2,735,391	—	2,735,391
セグメント利益又は損失(△)	△52,840	97,315	44,475	△91,914	△47,438

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,914千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費88,112千円、営業外収益3,213千円、営業外費用7,014千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。